



『ちょこっとから楽しむ  
はじめての梅仕事』  
榎本 美沙 著  
梅愛が詰まった、季節の手仕事帖。青梅のはちみつ漬け、梅干し、はちみつ黒梅酢シロップ、すっぱい梅ジャムなど、無理なく作れておいしく食べられる、少量仕込みの梅レシピを紹介します。



『銀行屋と小間使い猫  
(十年屋と魔法街の住人たち4)』  
廣嶋 玲子 著

かわいい小間使い猫ミツの主人に選ばれた、魔法街一のかたぶつ、銀行屋ギラト。さぞ幸せに暮らしていると思ったら…? 『十年屋』シリーズのキャラクター、ギラト&ミツの物語。



『街とその不確かな壁』  
村上 春樹 著

その街に行かなくてはならない。なにかあろうと。〈古い夢〉が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動き出す。魂を揺さぶる書下ろし長編。



もう一冊。

一般

老犬暮らしの便利帳

俵森 朋子

みんなの節電生活

木村 俊雄

はるか、ブレイメン

重松 清

27000冊ガーデン

大崎 梢

それでも旅に出るカフェ

近藤 史恵

赤い月の香り

千早 茜

児童

すいぞくかんのおいしやさん

齋藤 榎

キャンピングカーのたび

みねお みつ

ぞうのこバナ

堀内 誠一

キュリオとかめの大王

齊藤 洋

ふしぎ草子

富安 陽子

イベント

・おしゃべり箱おはなしの会  
7月22日(土) 午前10時30分～  
図書館 2F 講座室にて

7月の休館日

毎週月曜日・祝日  
祝日(月)の振替 18日(火)  
月末整理日 30日(日)

問田布施図書館 ☎ 52-2288  
HP <https://ilisod004.apsel.jp/tabuse-lib/>  
E-mail [library.tabuse@town.tabuse.yamaguchi.jp](mailto:library.tabuse@town.tabuse.yamaguchi.jp)

俳句短歌

周防一夜会

花と笑顔かかえて帰り眠るころ涙ぼろん  
腹一杯風を吸って鯉が泳ぐ 体を捻じって泳ぐ  
つくし一列に並んで春の教室  
足裏にやさしい畦道の土弾む  
隠せぬ想いが後ろ姿に書いてある

加治 紀子  
國本英智郎  
藤井千恵子  
山口 綾子  
久光 良一

短歌

このかおり古き思い出よみがえる  
母の作りし草餅かなし  
看護婦はニコツとしながら数値告げ  
敗者の我に点滴をする  
ジグソーパズル埋まりゆくごと  
高層のマンションのあかり点りはじめる  
窓辺より白き月浮く空見つつ  
つつがなく今日を了えしと思つ  
やさしさを表現できぬと思いつつ  
心おだやかに明日は頑張る

堀部伝兵衛  
上岡 知雄  
吉村 京子  
藤田 京子  
河村美喜子

# 子育て支援センター 『おんとも』

問たぶせ保育園 ☎53-1012

『子育て支援センターおんとも』は、子育てサークルの開催や  
育児相談など子育て家庭へのいろいろな支援を行っています。

■赤ちゃんサロン 午前10時～正午

【はいはい】 あんよができるまでの赤ちゃん対象

【よちよち】 あんよが上手にできる未就園児対象

【わくわく】 よちよち、はいはい全員対象

## ◀7月行事▶

■施設開放 全員対象(令和2年4月2日以降生まれ)

午前9時～午後3時30分

(昼休み 午後12時15分～午後1時15分)

土曜日 午前9時～午後12時15分

■調理実習

◇開催日時 7月25日(火) 午前10時30分～

◇はいはい対象 限定5組(要予約)

※予約は『おんとも』で受け付けます。

■救命救急講座

◇開催日時 7月7日(金)午前 10時30分～

■プールあそび

第3週目から始まる予定です。

詳細は『おんとも』に問い合わせるか  
インスタグラムでご確認ください。



月	火	水	木	金	土
					1 開放
3 開放	4 はいはい 製作あそび	5 開放	6 よちよち 製作あそび	7 わくわく 救命救急講座	8 開放
10 開放	11 はいはい プールあそび 身体測定 ティータイム	12 開放	13 よちよち プールあそび 身体測定 ティータイム	14 わくわく 誕生会	15 開放
17	18 はいはい プールあそび	19 開放	20 よちよち プールあそび	21 開放	22 開放
24 開放	25 はいはい 調理実習	26 開放	27 よちよち プールあそび	28 開放	29 開放
31 開放					

私たちと人権シリーズ

『バスケットボールからの学び』

東田布施小学校長

校長 森本 敏史

中学校の部活動からバスケットボールの魅力にはまり、約40年間バスケットボールに関わってきました。選手、指導者、審判、観客と色々な立場から関わることも経験し、たくさん学びを得ることができました。

今回はその学びの中から人権教育とバスケットボールの関係について考えてみました。

まず、バスケットボールをプレイするには、相手を尊重することが求められます。試合中に、相手を蹴ったり、暴言を吐いたりすることはルール上ももちろん許されません。それ以上にバスケットボールを楽しめるのは、チームの仲間や対戦相手がいってくれるからこそであることを忘れてはなりません。ですから、バスケットボールをする上で、自分自身や相手の権利を尊重することが大切であり、人権教育とも関連しています。

また、バスケットボールは、協力や

チームワークが重要な要素となっています。自分だけが活躍することではなく、チーム全体で勝利を目指すことが求められます。このようなマインドは、人権教育にも共通するものであり、相手を尊重し、協力して目的を達成することが大切であるという教育的価値観を育むことができます。

さらに、バスケットボールは、スポーツマンシップやフェアプレーを重んじるスポーツです。そのため、試合中に反則を取られた場合や、審判の判定に不服がある場合でも、冷静に対処することが求められます。このような姿勢は、学校生活においても重要なものであり、人権教育とも関連しています。

以上のように、バスケットボールは、人権教育とたくさん関連があります。バスケットボールを通じて、自分自身や他者の権利を尊重すること、協力やチームワークの大切さ、スポーツマンシップやフェアプレーの重要性などを学ぶことができます。

このように学校教育の様々な場面で人権教育の機会と捉え、『自ら求め、最後までやり抜く、思いやりのある子』を育てていきたいと考えています。